

日本の出展者ブースが大盛況！ 大手ブランド、有力メディアが多数来場！



1月21日(金)から25日(火)まで、世界最大級のインテリア&デザイン関連見本市、「メゾン・エ・オブジェ」が開催されました。今回のメゾン・エ・オブジェでは、経産省日用品室の支援を受けた日本企業12社が「J STYLE+」としてHall6に出展、またHall8には日本の若手デザイナー7人が、同省デザイン室のサポートにより、「JAPAN DESIGN+」として出展を果たしました。

「J STYLE+」では事前のマーケティング活動等の取り組みにより、大手ブランドやセレクトショップのバイヤーの来場が実現、50件以上の商談が会期中に成約しました。一方、「JAPAN DESIGN+」では、日本人デザイナーの出展品が大きな注目を集め、多数の有力メディアが来場し、大変な盛況ぶりでした。

ここで会期の様子の一部をお伝えします。

< メゾン・エ・オブジェ 開催結果 >

会期	: 2011年1月21日(金)～25日(火)
会場	: PARIS-NORD Villepinte 見本市会場
全体来場者数	: 85,098名(世界140カ国より)
全体出展企業数	: 2,804社(世界43カ国より)
J STYLE+	
来場者数	: 約11,700名
商談数	: 567件(1月25日時点)
参加企業	: www.murc.jp/seikatsukanren/paris_sankakigyo.pdf
JAPAN DESIGN+	
来場者数	: 約5,000名
参加デザイナー	: www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/human-design/file/101115Now_designer.pdf

1. 「J STYLE+」速報

～大手ブランド、有名セレクトショップが多数来場！多くの商談が会期中に成約！～

今回の一番の成果は、大手ブランドや、有名セレクトショップとの成約、前向きな商談が多数あったことです。本事業の事務局を担当した三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング社では、3年前から、フランスのエージェント(通称:セールスフォース)とともに、日本の中小企業の海外販路開拓を支援する試みを行ってきました。これまでは、日本の出展者が中堅・小規模のバイヤーとの間で商談を成約させることに一定の成果をあげて参りましたが、今年はさらにルイ・ヴィトン、エルメスなどの錚々たるブランドが来場し、成約に向けた前向きな商談が行われました。また、パリの有名セレクトショップであるコレットからサンプルオーダーを獲得した出展者や、ミラノの大手デパート、リナシエンテから催事用の商品購入の相談を受けた出展者もいました。

<主な大手ブランド、セレクトショップ、ディストリビューターとの商談事例>

大手ブランド	新商品開発プロジェクトへの参加オファーあり。
パリの有名セレクトショップ コレット	清掃用品の出展者に対して、サンプルオーダー。
ミラノの大手デパート リナシエンテ	テーブルウェア関連の出展者2社に、4月に開催する催事用の商品の購入相談あり。
NYのミュージアムショップ MoMA	清掃用品の出展者に対して、サンプルオーダー。
フランスの大手家具 エージェント	照明の出展者との間で、ディストリビューション契約を締結。
スイスの大手家具 ディストリビューター	照明の出展者に対して、ディストリビューション契約のオファーあり。
メゾン・エ・オブシェ 主催者	家具関連の出展者に対して、一部商品を展示会の内装として採用したい旨の相談あり。
イタリアのデザイン 関連団体	家具関連の出展者に対して、ミラノ・サローネに出展するブース内での無料展示、及び会期中の委託販売のオファーあり。

上記の来場者のうち多くは、セールスフォースによる事前営業により来場が実現しています。特に大手ブランドやセレクトショップのバイヤーは、アポを取り付けるのが大変困難ですが、事前にセールスフォースが何度も連絡・訪問し、場合によっては出展者と同行の上で商談に伺い、熱心に出展商品の魅力を訴え続けた結果、今回の成約に至りました。改めて事前の営業活動の重要性を、再認識する結果となりました。

もちろん上記の他にも、中小規模のバイヤーが多数来場し、多くの商談が会期中に成約しています。会期中だけで 100 万円以上のオーダーを獲得した出展者や、60 件以上の有望な引き合いがあった出展者もありました。

バイヤー以外にも、ELLE(エル)、marie claire(マリ・クレール)などの有力メディアの来場があり、多くの出展者が取材を受けました。結果として、「J STYLE+」への 5 日間の合計来場者数は 1 万人を超え、大きなプロモーション効果のあがった会期となりました。

今後も多くの商談が成約になる可能性が高く、事務局では引き続き、フランスのセールスフォースを活用しながら、フォローアップを続けていきます。

< 会期中の商談の様子 >



2. 「JAPAN DESIGN+」 速報

～日本のデザインが大注目！有力メディアの来場多数！～

メゾン・エ・オブジェの中でも特に、最新のデザインを集めた Hall 8 の「NOW！」では、7人の若手デザイナーが出展し、それぞれのデザインを発信、熱心な商談やメディアの取材を受けました。各社がこぞってこだわりのブース構えを見せる中、「JAPAN DESIGN+」のブースは常に人であふれ、5日間で約5千人の来場を記録しました。



商談ではショーウィンドウの展示デザイン・商品のデザイン依頼に加え、出展されたプロトタイプを商品化したいとの申し出や、MoMAを始めとする多数のバイヤーから、全体で見積合計額150万円を超える商品発注及び発注希望を受けるなど、単なる情報発信に留まらない具体的な成果を得ることができました。来場者からは、「日本人の作るものはシンプルで美しく、かつ機能的で素晴らしい」「日本のデザインに注目している」という声が聞かれるなど、日本文化や、日本人デザイナーに対する関心の高さを窺わせていました。





ブースでは、カナダのテレビ取材を始め、各国有名雑誌による取材も多く見られました。熱心に取材していた Madam FIGARO(マダム フィガロ)の記者からは、「すべての作品に、日本文化の根底にあるシンプルさや素朴さを大切にする世界観が生きており、まさに伝統と革新の融合。日本人だからこそ作れるデザイン・製品である」とのコメントがありました。

また、出展したデザイナーからは、「バイヤーなどの来場が多く、直接ビジネスに繋がりがやすい」「プロトタイプを商品化してくれるディストリビューターが見つかった」など出展してよかったとの声が多く寄せられました。

***** 本件に関する問い合わせは下記まで *****

生活関連産業海外市場開拓支援事業 企画・運営事務局

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 国際営業部 担当: 則長、大野

TEL : 03-6711-1233

E-mail : norinaga@murc.jp ; d.ohno@murc.jp